

中部ESD拠点運営委員会（第10回）議事メモ

日 時 平成20年9月25日（木）16時40分～18時00分

場 所 中部大学名古屋キャンパス（810号室）

出席者 竹内委員長、寺井、高山、村瀬（天野の代理）、桜井（新海の代理）の各委員

オブザーバー 武者小路、羽後、伊藤、安在、竹峰

事務局 古澤、岡本、永田

議 事

1. 第2回総会及びフォーラムについて

事務局から以下の通り、第2回中部ESD拠点総会及びフォーラムの運営体制案の提案があった。また、フォーラム実行委員会のたたき台として提出する資料の報告があった。

- ・総会は運営委員会の責任の下、実施する。
- ・フォーラムは実行委員会形式で、協議会参加団体から希望者を募り、企画・運営を実施する。
- ・フォーラム実行委員会初回のために事務局がたたき台を用意したが、内容は実行委員会内で決める。なお、たたき台作成に関しては、運営委員の方々から口頭あるいは書面にいただいた案を事務局でまとめたものである。

運営委員会が企画・運営を行う第2回中部ESD拠点総会に関して、竹内委員長から事務局案の説明が求められ、事務局から以下の提案があった。

- ・中部ESD拠点協議会代表挨拶
- ・議長選出
- ・これまでの活動について
- ・今後の活動計画について
- ・規約などについて
- ・中部ESD拠点ロゴ募集表彰式

次いで、事務局案に対して各委員から以下のような意見が出された。

- ・1月に開催された第1回中部ESD拠点総会のように、事務的なことのみを話し合うだけではよくないのではないのか。
- ・総会に顔を出すだけ、という参加者を返さないため、午後も総会の一部として実施してはどうか。

- ・ロゴ表彰式は、注目度の高い時間帯に行うほうが良いのではないかと。
- ・報告はできるだけ多くの参加団体にさせていただく。

上記の意見を受け、以下の事項が決定された。

・初日を一日総会とし、運営委員会は1部と基調講演とし、以降を実行委員会で企画する。また、基調講演の候補者は、生物多様性COP10事務局長のジョグラフ氏や、千葉県知事の堂本暁子氏、セバン鈴木氏などの案が出されたが、結論として、第一候補を日高敏隆氏、第二候補を安田喜憲氏、第三候補を涌井史郎として打診を行うこととした。

2. 中部E S D拠点ロゴマークの審査について

事務局から、ロゴマークの第1次審査状況の報告と、集計結果の報告が行われた。また、以下のように2次審査の体制及びスケジュールの確認を行った。

二次審査（10月の第2週を予定）

- ・竹内恒夫氏（中部E S D拠点運営委員会委員長、名古屋大学教授）
- ・羽後静子氏（東海・中部地域「持続可能な発展のための教育の10年」市民推進会議）
- ・新海洋子氏（中部E S D拠点運営委員会委員、中部環境パートナーシップオフィス（E P O 中部）チーフプロデューサー）
- ・高北幸矢氏（名古屋造形大学学長）
- ・水津功氏（愛知県立芸術大学准教授）
- ・中部E S D拠点協議会参加団体会員（第1次審査参加者が2名であったため全員参加）
 - 高橋氏（エコプラットフォーム東海）
 - 東氏（核融合科学研究所）

3. その他

（株）Good News Japan からの提案について、伊藤氏より進捗状況の報告がされた。前回の運営委員会後、伊藤氏より生物多様性条約COP10支援実行委員会に「予算付きで入って下さい」とお願いしたところ、「予算はないが知恵を出す、汗をかくので中に入ります」との返事を受けた。今後は資金集めに尽力するとの報告があった。また、制作する番組の内容については事務局と詰めていきたい旨の希望があった。東京とのやり取りもあるため、武者小路氏にもアドバイザー的な役割でご協力願うこととなった。

以 上